

令和6年度 福島県働き方改革モデルづくり事業

株式会社 東コンサルタント



会社概要

社名	株式会社 東コンサルタント
所在地	福島県いわき市平字正内町101
創立	1966年 6月 9日
従業員数	男性 90人 女性 35人
業務内容	測量業 建設コンサルタント 補償コンサルタント 地質調査
経営理念	わたくしたち東コンサルタントは 公正・公平で誠実な経営につとめ『ものづくり』を通じて地域に貢献できる『人づくり』を行う会社を目指します



取り組みのきっかけと目標

1. 設計2課ではプロジェクトごとに担当が決められており、それぞれの裁量で業務を進めているため、互いの進捗状況が把握できずチーム連携に課題があった。
2. 上長不在等で相談のタイミングが難しく、個々人のタイムマネジメントがうまく機能していなかった。
3. 業務の属人化がおきており、技術継承の課題があった

以上のことから、2つの目標に向けて取り組みをスタート

共通業務等の見える化をして
協力体制を強化する

だれでもできる化を進めて
一人一人が余裕を持った働き方が
できる職場にする

取り組み内容

1. それぞれが作業予定表を作成しPCフォルダ内で共有を開始。始業時に1日の業務予定とその業務にかかる時間の見積もりを入力し、互いの状況の見える化を図った。また、終業のタイミングで1日の業務進捗を振り返り「予定通りにできたこと／予定通りにできなかったこと」の要因分析を行い、予定通りにできなかったことへの対応策を検討した。
2. 「属人化解消のために何ができるか」をテーマに付箋ワークを実施。実施可能／不可能という思い込みにとらわれずに各自のアイデアを共有してマトリクス分析を行い、チームメンバーが「実効性と効果が高い」と判断した付箋について話し合いを行った。



取り組み成果

1. 作業予定表を共有することで、それぞれの1日の予定や繁忙状況を把握することが可能になり、互いの業務理解へと繋がった。また、上長不在のタイミングも作業予定表から把握することが可能となり、相談時間の予定が立てられることから自身のタイムスケジュールが立てやすくなり、業務効率化を図ることが出来た。
2. 属人化解消アイデアの「実効性と効果」についてマトリクス分析を行ったことで、アクションプランをより明確にすることが出来た。
 - ・クライアントごとに異なる書類の書き方について整理し、書式と記入例のフォルダを共有内に作成する。
 - ・個人PC内で行っていた作業を共有フォルダ内で行うことで、互いの進捗が分かるようにする。
 - ・お互いに遠慮してヘルプをお願いしにくい雰囲気を解消するため、やってもらいたいことリストを作成し作業予定表に追加。
ヘルプ可能な人がリアクションをして協力体制を構築する。

誰が／何を／いつまでに を決定後アクションスタート！



取り組みから感じたこと

メンバーの感想

作業予定表を共有したことで、日々の作業内容をより明確にでき、メンバー間の作業状況を把握しやすくなりました。また、タイムマネジメントを意識するようになり、業務効率化を図ることができました。作業予定を日々作成して共有することで、作業を細分化して考えることの意識が芽生え、メンバー間で協力できる作業を把握しやすくなりました。この取り組みを継続してメンバー間の連携強化に努めたいと感じました。

事務局から

会を重ねるごとにメンバー間のコミュニケーションがより深くなったと感じました。普段中々話すことの無い「仕事に対する価値観」について共有したことも、業務の連携強化には有効であったと思います。また、メンバー全員で目標を設定し、目標に向かって何ができるかを「皆で」意見を出し合い実行する点が、より現実性のある効果的な取り組みであると感じました。今回参加したメンバー全員が、業務に対する新たな気付きを得て、成長できたと思います。大変有意義な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

今後に向けて

属人化解消へ向けて、できることからアクションプランを実施し、継続・改良を重ねながら定着化を図りたいです。また、本取り組み内容を設計2課に留めず、社内全体に水平展開することで、それぞれの部門部署で、更なる業務効率化と協力体制の構築を目指します。引き続き働き方改革を推進し、一人一人が輝ける職場とするため全社で取り組んでいきたいと思っています。